

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Cetuximab+FOLFIRI療法(ワンバック)
疾患名	大腸癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	寺尾 正子
適応	大腸癌

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2012年8月4日
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	day8	-	-	-	-	-	
1	レスタミンコーク錠10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パロブセトロン静注用0.75mg	1	瓶														
	デキササード注射液 6.6mg	1	瓶														
4	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
	デキササード注射液 6.6mg	1	瓶														
5	生理食塩液	300	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	2回目以降 250mg/m ² を60minで投与 2回目は生理食塩液250mLに混注 (予備容量: 140mL) ※濃度0.83~4mg/mLになるよう調製する。 7-ピリタック投与終了後、1時間は経過観察すること。 2回目以降は経過観察を省略可能
	アーピタックス注射液	400	mg/m ²														
		2回目以降250	mg/m ²														
6	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンと同時に
	レボホリナート点滴静注用	200	mg/m ²														
7	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンと同時に
	イリリテカン塩酸塩点滴静注液	150	mg/m ²														
8	フルオロウラシル注	400	mg/m ²	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナート終了後 15分以内で投与終了
	生理食塩液	50	mL														
9	フルオロウラシル注	2400	mg/m ²	持続点滴	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ワンバック持続(46時間)
	ゾルデム3A輸液	2000	mL														
10																	

備考欄

文献

減量・中止基準

mFOLFOX6, FOLFIRIにおいては同レジメンにおける注意を参照
< Cetuximabの減量基準 >

Grade3以上の皮膚障害の発現回数	本剤の投与	本剤投与後の状態	本剤の用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目発現時	投与中止	-	-